

<p>1 部 の 使 命</p>	<p>私たち教育部は、ふるさと養父市の未来を担う子どもたちをど真ん中に捉え、全ての市民にとって、学びのあふれる教育環境を地域総がかりでつくる教育の実現を目指し、学ぶ楽しみ・育てる喜びを感じられるよう、「生きる力」を育む0歳からの一貫した教育環境を、全職員が個々の能力を出し合い、市民と共に創ります。</p>
	<p>【令和5年度評価】</p> <p>「学力向上と地域とともにある魅力ある学校づくり、学ぶ環境の充実」の取組として、ICT機器活用能力を高めるための積極的な活用や地域コーディネーターの配置、やぶ・ふるさとキャリア教育の推進、部活動指導員の配置、土曜学習教室の開催などに努めた。</p> <p>「安心安全と包摂的な学びの場づくり」の取組として、学校施設、こども園保育所等の改修及び維持修繕に努めた。</p> <p>「歴史文化遺産の整備」の取組として、史跡八木城跡・青谿書院記念館の整備を進め、国指定に向けた大藪古墳群の調査に着手し、歴史文化遺産の継承に努めた。</p> <p>「スポーツ施設の長寿命化」の取組として、全天候運動場及び都市公園施設（八鹿総合体育館など）について、安全性や利便性を向上させるため、改修工事を実施した。</p> <p>「子どもたちに食や地元産の食材に関心をもってもらう」取組として、市内で取れた農作物の活用を図る地産地消による給食献立の提供に努めた。</p>

令和5年度の部の経営目標に対する実績及び評価、分析、対応等を記載してください。
全庁版の経営目標の達成につながる事業及び数値目標を記載してください。

【柱①市民】

- ・特色ある学校教育の実施校の割合 38%以上//38.4%建屋小（小規模特認校）、
関宮学園前期・後期（義務教育学校）で実施。大屋小及び大屋中で一部教職員の
兼務発令による小中一貫教育の実施（5校/13校）・達成
- ・小規模特認校の区域外からの就学児童数 15人以上//17人、小規模特認校の教育
に賛同し、新規の就学者が3人。合計17人の就学・達成
- ・養父市教育のあり方検討委員会の答申の周知と実施計画の策定及び事業推進
//7月19日に実施計画書策定済み、8月に1保育所、2こども園にて説明会を実施、10
月～11月にかけて小学校区単位こども園、小学校、中学校、義務教育学校の9会場
で合同の説明会を実施、2月に小佐地区、宿南地区区長会との意見交換会を実施、
3月に宿南小学校、宿南こども園との意見交換会を実施・達成
- ・学ぶことが楽しいと感じる児童生徒の割合 85%以上//82%、全国学力・学習状
況調査において、「学校に行くのは楽しい」と回答した小学6年生及び中学3年
生の割合は82.0%（268人/327人）。内訳は、小学6年生90.9%（全国平均
85.3%）、中学3年生74.2%（全国平均81.8%）・未達成
- ・時間外勤務 △3%削減（前年度との比較）//前年度同比・未達成
- ・職員の健康管理 年次休暇取得日数 1人8日/年以上//12日・達成
- ・スポーツ施設利用者数 178千人以上//92千人・未達成
- ・スポーツ大会参加者数 2千人以上//3.3千人・達成
- ・文化財保存関係団体の活動の支援：12団体以上//15団体・達成

【柱②地域】

- ・待機児童数（こども園、保育所、学童）：0人//0人・達成
- ・この地域で子育てをしていきたい親の割合
（公立こども園及び保育所利用者の満足度）95%以上//98.1%・達成
- ・地産地消の推進・・・市内産野菜等の使用率30%（重量ベース）//使用率32.4%・
達成

【柱③公共】

- ・若者未来応援奨学生のUターン数：24人以上//28人・達成
- ・若者未来応援奨学生の応募者数：5人以上//4人・未達成

・二十歳のつどい参加率：80%以上//83.3%・達成

※各課の実績をもとに下記を記載する。

【評価】

部の経営目標15項目のうち、11項目で達成、4項目で未達成

【原因】

- ・令和2年度～4年度において、新型コロナウイルス感染症の拡大により、本人や家族が感染し、休みが長期化するなど学校を休むことに抵抗感が無くなり、学校で学ぶことが楽しいと感じる機会が減少していることも原因であるように感じている。
- ・時間外勤務の増については、特定の部署で増加している様子は無いが、新学期のスタート時や月初め、また、不登校やいじめなどの対応に時間を要していること、令和5年度から組織再編があり新しい業務に時間を要していることもなどが考えられる。
- ・各施設の利用等は全天候運動場と八鹿総合体育館が長寿命化改修工事に伴い施設を使用することが出来なかったため未達成となった。
- ・若者未来応援奨学生応募者数を増やすため所得制限額を500万円未満から700万円未満に拡大し募集を行ったが、該当する学生や保護者への周知が十分行き届かなかった可能性やいろいろな奨学金が大学等で制度化され、選択肢も増えている状況であることなどが考えられる。

【対応】

- ・授業改善等により確かな学力の育成を図る。また、学校の課題に応じた教職員研修や学校のアイデアを生かした特色ある教育活動を支援する「YABUスクールチャレンジ事業」を実施し、魅力と特色ある学校づくりを推進し、学校に行くのは楽しいと感じる児童生徒を増やす。さらに、養父市ほっとステーション等の活用により、学校に行きにくい児童生徒等の支援を図る。
- ・時間外の削減については、各課でそれぞれが担当する業務量について精査し、業務量の偏りを減らすことで全体の時間外の削減に努めていく。
- ・各施設の維持修繕や環境整備に努め、市民が利用しやすく、安心安全な施設運営に努めていく。
- ・広報紙やHPなどで情報発信に努めているが、情報が必要な方へ届けるために最適な方法や時期、回数などを検討し事業を進めて行く。

3
外
部
環
境

◎機会

- 【政治】国の子育て・教育政策の進展
- 【社会】情報化社会（DX）の進展
- 【市民】多様化する子育て・教育に関するニーズ
- 【地域】地域歴史文化の再認識
- 【環境】新型コロナ感染症の減少（2類感染症→5類感染症（R5.5.8））

▼脅威

- 【地域】人口減少
- 【市民】少子高齢化、核家族化
- 【競争】近隣市町の子育て・教育分野の取組

4 内部 環境	<p>○強み</p> <p>【使命】 使命が明確になり組織力の発揮が可能</p> <p>【政策】 子育て・教育・ICT環境の充実</p> <p>【計画】 施設個別計画が策定済</p> <p>【協働】 指定管理者、地域団体などとの協力体制が充実</p> <p>▽弱み</p> <p>【市民】 政策における市民起点の浸透不足</p> <p>【計画】 人口減や施設の老朽化に伴う統廃合の推進</p> <p>【人材】 専門職の後継者不足</p> <p>【経費】 施設維持整備の予算確保</p>
---------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5 重要 経営 課題	<p>【子育て】 日本一子育てをしやすいまち</p> <p>【教育】 0歳からの一貫した教育環境づくり</p>
---------------------	---------------------------------------------------------

6 部の 経営 体制	<p>・ 所管課：3課、2センター、1保育所、7こども園、8小学校、3中学校、1義務教育学校</p> <p>教育課(5人)、こども学び課(16人)、歴史文化財課(7人)、生涯スポーツセンター(9人)、学校給食センター(26人)、保育所・こども園(89人)、小中義務教育学校(26人)、ALT(7人)</p> <p>※会計年度任用職員含む</p> <p>計 185人</p> <p>・ 予算：1,807,810千円(会計年度職員人件費含む)</p>
---------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

全庁版の経営目標の達成につながる事業及び数値目標を記載してください。

【柱①市民】

- ・小規模特認校の区域外からの就学児童数 17人以上//
- ・「養父市教育のあり方検討委員会」答申に基づく実施計画の事業推進//
- ・学校に行くことが楽しいと感じる児童生徒の割合 85%以上//
- ・時間外勤務 △3%削減（対前年比）//
- ・職員の健康管理 年次休暇取得日数 1人10日/年以上//
- ・スポーツ施設利用者数 135千人以上（教育部所管分）//
- ・スポーツ大会参加者数 3.5千人以上//
- ・文化財保存関係団体の活動の支援 15団体以上//

【柱②地域】

- ・待機児童数（こども園、保育所、学童）：0人//
- ・この地域で子育てをしていきたい親の割合
（公立こども園及び保育所利用者の満足度）95%以上//
- ・学校給食での市内産野菜等の使用率 35%以上//

【柱③公共】

- ・若者未来応援奨学生へのUターン数：30人以上//
- ・若者未来応援奨学生の応募者数：5人以上//
- ・二十歳のつどい参加率：83%以上//

<p>8 部の 経営 方針</p>	<p>【価値】 更なる独自性のある政策展開 【人材】 人材育成（専門職含む） 【財政】 安定的な財源の確保</p> <p>（経営の仕組みに関する取組内容）</p> <p>【市民】 市民からの信頼度のさらなる向上 ・市民ニーズに基づいた事業計画立案</p> <p>【経営】 教育、子育て環境の格差是正 ・土曜学習教室の開催により、子どもたちの学びたい意欲や夢に向かって頑張ろうとする意欲をより高め、誰もが無償で通うことのできる学びの場を創出する。</p> <p>【計画】 施設の計画的な維持管理の推進 ・事業の実施に当たり、年度当初に事業ごとのスケジュールや取組事項を表にまとめ、部内会議で情報を共有し、スケジュール感をもって事業に取り組んで行く。</p> <p>【政策】 デジタル社会に向けた取り組みの充実 ・ICT機器の積極的な活用により、「個別最適な学び」と「協働的な学び」に対して一体的に取り組む。</p> <p>【協働】 市民協働による地域力の拡大 ・地域とともにある魅力と特色ある学校づくり</p> <p>【改善】 アフター・コロナ社会に向けた取り組みの充実 ・2類感染症 ➡ 5類感染症（R5.5.8）へ移行となったことから、児童生徒の体験活動などの充実を図る。</p>
-------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

9
部の
重要
政策
の取
組内
容

市の重要施策の取組内容から関係のある事業を抜き出し、数値目標を設定してください。

【教育課】

事業名：学校施設等長寿命化対策事業（R 7. 3月まで）

事業費：小学校費 138,610 千円 中学校費 25,410 千円

柱：市民

- ① トイレ洋式化・教室等LED化改修等・1校（八鹿小）
- ② 空調改修2期目・1校（関宮前期）
- ③ 防犯灯改修・7校（養父小・広谷小・建屋小・宿南小・大屋小・関宮学園前期・養父中）
- ④ 設計業務（部位修繕）・1校（大屋中）

事業名：小中義務教育学校PC整備事業（R 7. 3月まで）

事業費：小学校費 47,770 千円 中学校費 30,258 千円

柱：市民

- ① 校務系PC及び大型提示装置の更新など

事業名：公立認定こども園等運営事業 主要建設事業（R 7. 3月まで）

事業費：46,279 千円

柱：市民

- ① 園舎改修・1園（広谷こども園）
- ② 空調設備更新・2園（関宮・広谷こども園）
- ③ 厨房機器更新・5園（養父・三谷・大屋・宿南・関宮こども園）
- ④ 複合遊具更新・1園（養父こども園）
- ⑤ 電話機器更新・3園（広谷・養父・関宮こども園）

【こども学び課】

事業名：デジタル教材活用推進事業（R 7. 3月まで）

事業費：7,747 千円

柱：市民

ICTによる個別最適化された教育の推進

- ・教科書改訂に伴うデジタル教材の整備（小学校社会、算数、外国語 等）
- ・中学校英語AI英会話アプリのモデル実施

事業名：スクールチャレンジ事業

事業費：1,438 千円

柱：市民

魅力と特色ある学校づくりの推進

- ・先進的な教育活動や教職員の育成に取り組む学校を支援する「YABUスクールチャレンジ事業」を継続実施

事業名：医療的ケア児受入支援事業

事業費：7,459 千円

柱：市民

公立こども園における医療的ケア児の受入の実施

- ・医療的ケアを必要とする児童の集団保育での育ちの支援
- ・家族の心身の負担軽減と離職の防止

事業名：部活動体制整備事業（R 7. 3月まで）

事業費：3,005 千円

柱：市民

- ・これまでの取り組みに加え、次の①②を新たに実施し、部活動の地域移行を推進

- ① 受け皿となる地域クラブが活動するために必要な経費の一部を支援
- ② 子どもたちが地域クラブに参加する際に必要となる費用の一部を支援

事業名：デジタル教育書等を活用した教職員指導力向上事業（R 7. 3月まで）

事業費：1,320 千円

柱：市民

- ・次の①②により研修を充実させ、教職員の指導力向上を図る。

- ① デジタル教育書の読み放題サービスを教職員に提供
- ② デジタル教育書の著者による教職員向けの講演会や提案授業の実施

【歴史文化財課】

事業名：八木城跡整備事業の推進

事業費：20,359 千円

柱：市民

- ・八木殿屋敷地区の整備工事を推進する。国指定文化財の面積約 9,800 m²の内、令和 6 年度事業で約 1,200 m²を整備し、全体で約 9,300 m²（約 95%）が完了予定。

事業名：文化財展示室の常設展示

事業費：25,000 千円

柱：市民

- ・関宮地域局別館 1 階に整備した文化財展示室に常設展示を行い、文化財資料の周知・活用を図る。

【生涯スポーツセンター】

事業名：体育施設管理費

事業費：65,442 千円

柱：市民

八鹿総合体育館、全天候運動場等の施設の適正な維持管理と指定管理への移行の検討

- ・施設の改修工事の完了に伴い、指定管理への移行

【学校給食センター】

事業名：学校給食管理運営事業

事業費：208,144 千円

柱：市民

- ・12 の小中義務教育学校の生徒児童、職員等に 1 日約 1,800 食、年間約 32 万食の提供

	<p>市内の野菜等の生産者と農林振興課との連携を深め、食育、地産地消及び有機野菜の活用の推進を図る。</p>
<p>10 部の 職場 方針</p>	<p>【部の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆成果の場：職員の理解の浸透度：B（51～70%）を目指す。 ◆改善の場：職員の人事評価目標管理シートの改善度：B（51～70%）を目指す。 <p>私たち教育部は、職場を「環境の予測外の変化、仕組みの不具合、計画や事業の差異発生などに迅速に対応する継続的改善の場」と考えています。</p> <p>①リーダーの進捗管理 部課長は、変化する時代での改善の必要性を語り、自らも進捗管理を徹底し、継続的な改善活動を通じて経営の仕組みのレベルアップを図っている。</p> <p>②職員の進捗管理 職員は、進捗管理と改善の必要性を理解し、担当する事業や業務を問題解決のプロセスを活用して適時に評価し、必要に応じた継続的な改善に取り組んでいる。</p> <p>③改善の効果 職場内の継続的な改善活動を通じて、政策・事業の内容が充実し職場の仕事が効果的、効率的になっている。</p> <p>④改善の活性化 改善活動が職場全体に広がり、職員の多くが改善活動を通常業務の一部と認識し、職場に「廃棄する」「工夫する」「新しい取組を考える」といった行動が盛んになっている。</p>